

今日は、関東に拠点を置かれる「めばえ寄席」の皆さんによる、ワークショップを楽しみました。これは、文化庁の文化芸術による子供育成推進事業（巡回公演事業）を活用した取組です。

今回の寄席は「みんなで作る落語会」とのことで、生徒の参加体験型の取組を様々な準備していただきました。まずは落語会の名前決定です。事前に生徒が考えた案から数点を選び、挙手で決定しました。何に決まったかは...本公演の記事までお待ちください。



落語「寿限無」を聴き、寄席のあれこれということで落語のしぐさを教えていただきました。「想像力で楽しむ」とのお話の通り、手ぬぐいを本に見立てて読みながら楽しそうに笑うしぐさに、自分たちもつりこまれて笑いが起こります。続いてそばを啜るしぐさを全員で試みますが、こちらはうまく音を出せず、なかなか苦戦しました。





寄席の伴奏音楽である「下座（げざ）音楽」の三味線と太鼓を聴かせていただいた後、寄席で使用される「寄席文字」を体験しました。「字の部分をお客の入りに見立ててなるべく太く書き、用紙の白い部分が少なくなるようにする。」と教えていただき、代表生徒がお手本を見ながら書き上げました。



およそ1時間のワークショップが終わり、次回は6月21日の本公演となります。本公演でも代表生徒による入場時の太鼓や出囃子の三味線など様々な体験があります。当日が待ち遠しく、楽しみです。



本日の給食

カリカリ梅ご飯、高野豆腐の卵とじ、ひじきとツナのサラダ、ミカンゼリー、牛乳

